

会 議 録（書面審議）

令和 6 年 2 月 21 日

会議の名称	理科教育センター 第 2 回運営会議																								
審議期間	令和 6 年 2 月 2 日（金）～ 2 月 16 日（金）																								
意見集約及び 会議録の作成	2 月 2 日付けで各運営委員に会議資料及び意見記入用紙を配布し、 2 月 16 日を期限として意見報告を依頼。提出された意見書を事務局で 集約後、事務局から回答の可能な項目については回答を付して会議録 （本録）を作成し、2 月 21 日付けで各委員へ送付。																								
審議事項	（１）令和 5 年度実施事業報告 ① 研修事業 ② 児童生徒・一般対象事業 ③ 研究事業 ④ 奉仕事業 ⑤ 年度末アンケートの集計結果 ⑥ 成果と課題・改善策 ⑦ その他 （２）令和 6 年度の運営について（案） ① 運営の基本方針（案） ② 運営の重点（案） ③ 事業の内容（案） ④ 予算（案） ⑤ その他																								
出席者 （運営委員 ・事務局）	<運営委員> <table border="0"> <tr> <td>理科教育センター所長</td><td>本多 アヤ子</td></tr> <tr> <td>理科教育センター次長</td><td>長尾 謙治</td></tr> <tr> <td>佐渡市小学校教育研究会長</td><td>藤井 衛</td></tr> <tr> <td>佐渡市中学校教育研究会長</td><td>福井 晴人</td></tr> <tr> <td>佐渡市小学校教育研究会 理科部長</td><td>斎藤 紗織</td></tr> <tr> <td>佐渡市中学校教育研究会 理科部長</td><td>村田 健輔</td></tr> <tr> <td>佐渡市教育委員会学校教育課長</td><td>柳澤 正二</td></tr> <tr> <td>佐渡市教育委員会教育指導主事</td><td>村川 健太郎</td></tr> <tr> <td>学識経験者</td><td>荒貴 源一</td></tr> </table> <事務局> <table border="0"> <tr> <td>理科教育センター教育指導主事</td><td>古塩 正明</td></tr> <tr> <td>理科教育センター協力員</td><td>大坂 和広</td></tr> <tr> <td>理科教育センター事務職員</td><td>永瀬 淳</td></tr> </table>	理科教育センター所長	本多 アヤ子	理科教育センター次長	長尾 謙治	佐渡市小学校教育研究会長	藤井 衛	佐渡市中学校教育研究会長	福井 晴人	佐渡市小学校教育研究会 理科部長	斎藤 紗織	佐渡市中学校教育研究会 理科部長	村田 健輔	佐渡市教育委員会学校教育課長	柳澤 正二	佐渡市教育委員会教育指導主事	村川 健太郎	学識経験者	荒貴 源一	理科教育センター教育指導主事	古塩 正明	理科教育センター協力員	大坂 和広	理科教育センター事務職員	永瀬 淳
理科教育センター所長	本多 アヤ子																								
理科教育センター次長	長尾 謙治																								
佐渡市小学校教育研究会長	藤井 衛																								
佐渡市中学校教育研究会長	福井 晴人																								
佐渡市小学校教育研究会 理科部長	斎藤 紗織																								
佐渡市中学校教育研究会 理科部長	村田 健輔																								
佐渡市教育委員会学校教育課長	柳澤 正二																								
佐渡市教育委員会教育指導主事	村川 健太郎																								
学識経験者	荒貴 源一																								
理科教育センター教育指導主事	古塩 正明																								
理科教育センター協力員	大坂 和広																								
理科教育センター事務職員	永瀬 淳																								
会議資料	別紙のとおり																								

会議の概要（主な意見）	
発言者	審議項目・意見・事務局からの回答等
＜審議事項1＞	令和5年度実施事業報告について(要項 P.2～P.12 の内容)
1－①	研修事業
運営委員 1	・研修事業の評価は良好であり、各回の参加者の感想も「参加して良かった」との回答が多くみられます。今後も工夫を加えながら充実した研修となるように取り組んでいただきたいと思います。
運営委員 2	・例えば放射線学習等、参加者数が少ない研修があるが、参加者数等の数値のみでその研修の価値や必要性を判断するのではなく、現在社会に求められているものや課題となっているもの等、数値に表れない必要性や価値も判断して、令和6年度の研修を考えてほしいと思います。 → 教員の声や必要性を総合的に判断して改善していきます。
運営委員 3	・アンケート回答に、「不安であった理科の授業に光が見えてきた」という記述を読み、理センの存在意義を強く感じました。経験が浅い先生にとっても、今後も参加しやすい研修を通して、理科好きの児童生徒を増やしていただきたいと思います。
運営委員 4	a) ワンポイント研修会、野外学習引率者研修会： 全教科全職員対象ならば、他（佐小研、佐中研、…）からも支援を受けるべきである（予算を含めて）。 b) 野外学習引率者研修会： 感想の一部から… 小さい河川⇒ 大きい長い河川（黄河、長江…）とのスケールの違いを考察させたい。 c) 公開授業研修会： 若い優秀な先生方が居て、将来性がある。お互いに磨き合ってほしい。 d) 佐渡学研修： まずは地元の佐渡から⇒ 県⇒ 日本⇒ 大陸⇒ 世界⇒ 宇宙へとつなげていきたい。 → 具合的で今後の指針となる貴重なご意見で参考になります。事業改善に活かしていきます。
1－②	児童生徒・一般対象事業
運営委員 1	・科学研究発表会への参加者数は増加傾向にあり、良いと思います。今後も科学に関する興味・関心を高める機会を設定していただきたいと思います。 → 引き続き、児童生徒への啓発をしていきます。
運営委員 2	・科学祭りの体験教室のブースの内容が、生物・地学系に偏っているのが気になります（どうしても依頼する団体の関係上、仕方ないかもしれませんが。）。物理や化学系のおもしろさを感じられる体験も、来年はぜひ増やしてください。 → 内容の調整を図りながら計画していきます。

運営委員 5	a) 科学作品展の中学生の部で出品数が「－13」となっていることについて、前年度に研究レポートは対象とせず、「科学作品」に絞ることを確認したことが影響したと思われます。 b) 今年度は特別奨励賞「該当者なし」でしたが、中学生として恥ずかしくないレベルの科学作品が出てくるように、私たちももう少し力を入れるべきなのかなと思いました。 → 理科センターでも、中学生の理科離れが進まないような事業の工夫やPRを進めていきます。
運営委員 4	・科学作品展：佐渡学との関係性がはっきりとして以前より充実している（レベルの向上）と感じた。しかし、標本作りの基本的な技術不足が見られた。教員や保護者のレベルアップが必要か？ → 教員や一般向けの基礎技能研修の充実を図っていきたいです。
1－③	研究事業
運営委員 4	・元旦の地震はめったにない貴重な体験。アンケート等を工夫して教材化したい（防災とも関連する）。 → 今回の地震は、教材化に値する貴重な事例です。教材化が図られるように各学校におたより等でPRしていきます。
1－④	奉仕事業
運営委員 3	・②の科学まつりの来場者数が前年度比＋166名、④の教材・教具等の貸出件数が前年度比＋16件が素晴らしいと思います。大幅な増加の考えられる要因は何か教えていただきたい。（機会があるときで結構です） → 科学祭りについては、市内各イベントとの関係や、気象状況、によって毎年参加人数が変わってきます。またPRのタイミングや方法でも変わってくるかと思います。できるだけ多く参加してもらえよう工夫をこれからも続けていきます。 教材教具の貸し出しは、「手軽さ」や「教員の実験意欲の向上」が挙げられるのではと思います。今後もPR強化を図ります。
1－⑤	年度末アンケートの集計結果
運営委員 2	・公開授業研修の評価が一番低いのが寂しいですね。本来、最も高くなるべき研修なはずなのに。原因はどこにあるのでしょうか。直ぐ使えるもののみを求めるのは仕方がないのかもしれませんが、それでは佐渡の子どもに本当の力はつきません。原因を踏まえ、来年度は挽回をぜひお願いします。 → 理科担当教員の主体性を大切にしながら、より関心や意欲を高められる研修の充実を図っていきます。
1－⑥	成果と課題・改善策
運営委員 1	・研修体系の見直し：この方向性で良いと思います。
1－⑦	その他の意見

運営委員 1	・多岐にわたる取組で成果が出ていて良いと思います。理科センターの皆さんと協力員の方達の努力の結果であると思います。今後も事業の見直し改善を図り、さらに充実した運営ができること期待しております。
運営委員 6	・今年度はコロナ明けの移行期で、研修会で人を集めるかどうか悩ましく判断が困難だったと思います。そんな中、ていねいな対応ができた、との前向きな事業報告で安心しました。 ・このような状況ですので、参加者数だけでは事業の評価がしにくいと思います。研修会同様、科学祭りや科学研究発表会についても、来場者満足度アンケートがあるとよいと思いました。 → 評価の工夫を図っていきます。
運営委員 3	・専任所員をはじめ、理センスタッフ、研究協力員の皆さんの活躍で、実績が上がっていると感じています。日々、お疲れ様です。
＜審議事項2＞	令和6年度の運営について(要項 P.13～P.17 の内容)
2-①	運営の基本方針(案)
運営委員 2	・基本方針の1あたりに、「主体的・対話的で深い学びを目指して」など、今日的な課題に対する文言を入れたらどうでしょうか。理センの存在意義も高くなると思います。 → 貴重なご意見ありがとうございます。より学習指導要領の主旨に合った基本方針に改定し、来年度初の運営会議で提案いたします。
運営委員 4	・良好である。
2-②	運営の重点(案)
運営委員 2	a) ワンポイント研修やICT研修をひとくくりにして、柔軟に研修内容を設定出来るようにしたのは、良いアイデアだと思います。 b) 公開授業研修も必ずしも授業公開をやらなくてもよい形にしたのはありだとは思いますが、その代わりが指導・教材アイデアの紹介としたのは、理センの研修会としては、あまりに寂しすぎると思います。また、今後、誰も授業公開をやらなくなる危険はないでしょうか。教材アイデアはあくまで指導法や指導理念があってはじめて生きるものです。「主体的・対話的で深い学び」の意義が薄くなればなるほど、教師としての成長も子どもの成長も薄くなると思っているのは私だけでしょうか。そこで提案です。授業公開をやらない代わりに、現在懸案となっている単元構成についての提案を入れたらどうでしょうか。また、児童生徒相手の授業は大変だったら、我々参加者相手に模擬授業の形で提案するということはいかがでしょうか。参考にお考えください。 → 公開授業研修は、来年度もできる限り実施、充実させていきます。研究協力員の主体的な実践を大切にしながら、支援していきます。
運営委員 4	・良好である。

運営委員 8	・ 4. 奉仕事業(4)学校給食異物混入同定調査について： 理科教育センターの事業は、“理科教育”センターとして、佐渡市の児童・生徒・教員・地域の皆様に、理科を学んだり、親しんだり、楽しんだりしてもらええる事業を行っている。しかし、学校給食異物混入同定調査においてはこのいずれにも当てはまらず、“理科教育”とは関係ない事業になっている。また、他地区の理科教育センターでは、このような事業をおこなっていない。そのため、この事業は理科教育センターの事業としては廃止にすべきであり、異物同定は、しかるべき調査機関に依頼すべきであると思う。 → 今後の検討課題としていきます。
2-③	事業の内容(案)
運営委員 7	・ 専科教員が増えて、理科授業を担当する教員が減少している。理セン協力員の人数も削減する方向で考えたかどうか。 → 今年度は研究協力員の数を削減いたしました。今後も、事業内容とともに、精選・削減できるものがあれば、検討して参ります。
運営委員 6	a) 野外学習引率者研修会が需要減でなくなるということですが、佐渡学研修など別の形でもいいと思うので、児童生徒を野外観察や野外実習に連れて行くときの、安全性や指導のポイントについて学ぶ機会があるといいなと思います。(児童生徒や教師の野外離れが気になります…) → 今後また希望が増えてきたら実施する方向ですが、来年度は佐渡学研修を1つ増やしたことで野外研修の対応をします。 b) 質問です。… I C T研修が人気のようですが、市小中教研の情報教育部と共催にできるとよいのかなと思いました。(今年度、小教研情報教育部がまとめて全職員に配布された資料を活用できるとよりニーズに応える研修になると思いました) → 小中情報教育部との連携はよいアイデアだと思います。今後検討していきます。 c) 科学作品展について、標本の出品数が減っているとのことですが、そもそも標本づくりを指導できる教員が何人いるかなのかなと思います。また、模造紙にまとめる作品が多いことも課題とのことでした。もし、その数を上げたいのであれば、「科学作品の作り方」や「標本の作り方」の先生方向けの研修会や一般人向けのイベントが必要になってきますね。(夢のような展開ですかね…) → 理科センターでもその必要性を感じています。児童・一般向け事業でのP Rや啓発をしていきます。 d) 公開授業研修会の指導者について、必ず1年に1度は県教育センターや大学の教授など、理科教育の研究に近い方からの指導がほしいです。新学習指導要領に向けての動きや、全国学調理科で出題される問題が動画になるという話も聞きます。理科主任研修会の場合でもよいのですが、理科

	教育の最新情報とその実際のところを学ぶ機会を設けたいです。 → 今年度依頼はしたのですが、日程が合わず設定できませんでした。来年度はぜひ理科センターとしてもお願いしたいです。
運営委員 4	a) 研修事業： どこかに地震・津波の研修を入りたい（いずれ、TV等で特集番組も組まれると思う）。 b) 佐渡学研修： 佐渡⇒ 県⇒ 日本⇒ 大陸(島)⇒ 世界(大陸)⇒ 宇宙へと向かう視点で。 → 貴重な視点だと思います。参考にさせていただきます。
2-④	予算(案)
運営委員 4	・予算の減額は苦しい。活動範囲が限られ、児童・生徒への影響も必然的に考えられる。 → ありがたいご意見です。施設、備品等かなり老朽化が進んでおり、ICT関連の備品や教材も、不足気味です。必要最小限のものは予算配当していただきたいと思います。
2-⑤	その他の意見
運営委員 7	・魅力的な研修会や観察会が計画されているのに、なかなか参加することができなくて残念です。来年度は、参加できるように努力したいと思います。
運営委員 6	・常に変化する時代に合わせて、事業の内容を変えていくことは大変よいことだと思います。また、当たり前のように理科指導にかかわる情報や資料が提供される現在の佐渡市の環境は恵まれていると思います。自然豊かな佐渡島における理科教育の在り方を探るリーダー的役割を、佐渡市立理科教育センターが担っていくことを願っています。
運営委員 3	・よく吟味された計画案だと感じました。研修対象が小・中学校の先生方である点は総合教育センターと同じですが、センター所長が理センの所長と兼任であることで期日や内容の重複を避ける等、うまく作用していると思います。今後とも連携と共有をお願いします。 → 総合教育センターとの連携や情報共有を今後も図ってまいります。
運営委員 4	・運営会議の代理出席について： 欠席の場合は代理出席ができるよう運営会議開催要綱の規定を改訂してはどうか。 → 来年度の運営会議で協議します。

以上